

徳島大学 留学生センターニュース

<http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>

No.6

2006.3.15

特集**国際化への挑戦**

－留学生センターの試み－

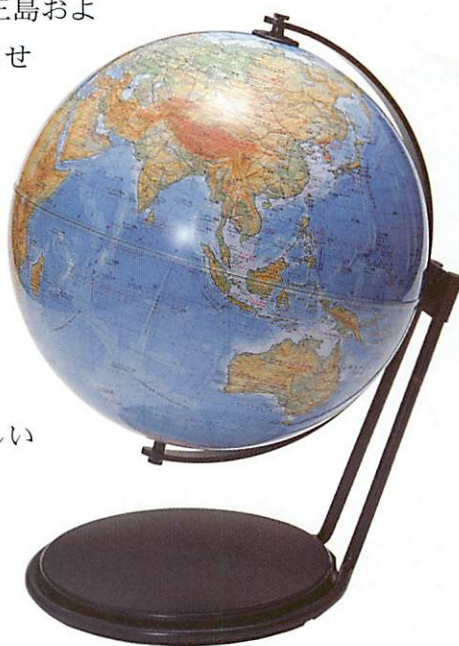
2006年の飛躍に向け

留学生センター長 永田俊彦



独法化以後、前にも増してあわただしく時間が過ぎて行く中で、新しい年が明けました。私、留学生センター長に就任して丸1年になろうとしております。この1年間、センターを円滑に運営し新たな国際戦略に対応した方策を立てて前向きに進んでいくことの難しさに直面しながらも、試行錯誤を繰り返しつつ日々を何とか乗り切っております。留学生センターの活動はセンター教員とセンター事務組織の絶え間ない努力があって成立しており、とくに日常的な留学生の生活支援やトラブルに対して時間を惜しまずバックアップして頂いている教職員には頭が下がる思いでおります。

さて、本年4月に新蔵町に徳島大学地域・国際交流プラザ（日亜会館）が完成し、2階に留学生センターが入ることになります。センター教員室、事務室、講義室が整備され、センターが漸く形あるものとしてまとまります。（ただし、常三島および蔵本キャンパスに留学生用の事務室をなくすことはできませんので、両キャンパスでは従来通りの運営も行うこととなります。）このように留学生センターとして拠点場所ができることは、その存在を示す上で、また徳島大学の国際化活動を推進させる上で、大きな一歩が踏み出せるものと感じております。また、4階には留学生宿舍30室が建設され、留学生の住居環境が少なからず改善されるものと思われます。国際化ポリシーの基本理念にも掲げてある「地域に根ざした国際交流活動」や「学生および教職員の国際化意識の向上」が新しい場所から発信され、「世界に開かれた徳島大学」のカラーがさらに推進されることを願っております。皆様の御理解と御協力を宜しくお願い申し上げます。



特集

国際化への挑戦

ー留学生センターの試みー

▶▶▶ 英語プレゼンテーションコンテスト ◀◀◀

去る1月19日(木曜日)午後5時から、本学工学部工業会館にて「英語プレゼンテーションコンテスト」が開催されました。個人参加ならびにグループ参加をあわせて合計6組の参加者が出場され、約60名の聴衆の前でユニークなプレゼンテーションを披露して頂きました。

今回は審査委員として総合科学部から餐場先生、上野先生、スタージ先生にご参加頂きましたが、厳正な審査の結果、

【1位】	濱田肇子さん	(工学部化学応用3年)	“Life and Money”
【2位】	岡崎裕樹くん	(工学部化学応用4年)	“During My Four Years...”
【3位】	野澤征司くん	(工学部エコ専攻M1)	“Charm of Used Clothes”
【特別賞】	磯野安理沙さん	(医学部保健学科2年)	
	熊野良美さん	(医学部栄養学科2年)	“Food of the Gods”

が見事受賞されました。受賞された皆様、おめでとうございます！

餐場先生も最後のコメントで述べられていたことですが、私達日本人にとって「英語で自分の意見を他人に向かって発信する」ということは、大きな困難を伴うものです。その困難と対峙し、積極的に本大会で自らの意見や考えを発表したことは、それ自体が賞賛に値するものであると思います。参加して頂いた学生諸君のチャレンジに心からの「おめでとう」を贈りたいと思います。



なお、今回の英語プレゼンテーションコンテストでは、10名の学生が運営委員として大会の準備にあたってくれました。運営上様々な問題もありましたが、彼らの献身的な努力で本大会を開催することが出来たと思います。ありがとうございました。

【運営委員一覧】

松田日嘉	工学部機械専攻M1	市橋和世	総合科学部4年
大野彰子	工学部機械工学科3年	青木さやか	総合科学部3年
岡 秀美	総合科学部3年	新濱裕子	総合科学部3年
三輪北斗	総合科学部3年	和田恭子	総合科学部3年
石元七恵	総合科学部1年	門田茜	総合科学部1年

特集

国際化への挑戦

ー留学生センターの試みー

▶▶▶初めてのホストファミリー講座◀◀◀

地域連携に関わる公開事業支援のプロジェクト経費を受け、2月4日（土曜日）、「初めてのホストファミリー講座」を開催しました。



一橋大学留学生センターの横田雅弘先生に東京からおいでいただき、ホストファミリーを始めるときのポイントや、実際のケースを取り上げて、参加者と共に考える機会を持ちました。

留学生センターでは、これまでもホームステイプログラムを実施していましたが、ホストファミリーに関心を持っていただきながらも、なかなか実際の受け入れに踏み切れないという方もおいでになり、こういった講座を開くに至りました。

当日、ケーススタディの形で進められた講座は、参加者自らが考え、相談

した中から活発な意見が出され、国際交流に関心を持つ多くの方々と和気藹々とした雰囲気の中で意見交換ができました。

終了後のアンケートでは、参加者中12名から回答が寄せられ、積極的に参加できたかとの問いに対し、「大変よく」及び「よく」の回答が75%、また講座内容への満足度の問いに対し、83%の方から「大変満足」「満足」との回答が得られました。今後の要望として、もっと頻繁な開催、各地域の国際交流団体との連携開催などのご意見をいただきました。

地域サポーターやホストファミリーの登録もしていただき、本当にありがとうございました。

徳島大学で学ぶ留学生の地域との共生の一步としてのホームステイプログラムを今後も展開していきたいと考えております。



特集

国際化への挑戦

—留学生センターの試み—

▶▶▶ まちたんツアー ◀◀◀



日本語研修コース（大学院入学前予備教育）では、6か月の日本語学習の総仕上げの意味もかねて、「まちたんツアー」を実施しています。

「まちたんツアー」は、日本語学習の場を教室から徳島市内へ、座学から運用へと広げていく一つのきっかけであり、学習者の自信をつける場としています。

具体的には、留学生は自分一人で徳島市内へ出かけます。チェックポイントで日本語を使ってする課題が出されます。留学生は、その課題の日本語を読み、理解し、移動し、行動し、報告するという一連の活動を自力で行います。

2004年度後期から、工学部知能情報工学科と協力し、「いつでもどこでも学ぶことのできる」U-learningの一環としてPDAを利用しています。PDAを利用してのまちたんツアーについては、2005年度10月8、9日に開催された日本語教育学会秋季大会（於金沢大学）で留学生センターのチームが口頭報告し、高い関心呼びました。また、11月28

日に徳島大学で開催された Third IEEE International Workshop on Wireless and Mobile Technologies In Education においても、工学部のチームが発表を行いました。

今後も地域の皆さんの協力の下に、様々な授業を試みていきたいと考えています。



特集

国際化への挑戦

ー留学生センターの試みー

▶▶▶ 日本語サロン ◀◀◀

今年度は、以前より試験的に行っていた「日本語サロン」を全学共通教育センターと共催で、定期的に蔵本と常三島の両キャンパスで開催しました。

「日本語サロン」は、日本語を使って、地域の方や日本人学生と留学生が気楽におしゃべりをする会です。①授業では、つかめない日本人の考え方や徳島という地域の特性などを肌で感じてもらう②日本人と知り合うネットワーク作りの一助とするという目的の元に毎回行っています。1対1でのおしゃべりで、今年度はテーマを決めて実施する時と、自由にそれぞれのグループで好きなことを話す時とがありました。

定期的な実施にあたっての大きな問題は、開催日時の設定の困難さでした。特に蔵本キャンパスでは、興味をもっている留学生の希望日時がまちまちで、毎回設定に苦慮しました。次年度に向けて蔵本キャンパスでの時間の設定と更に多くの留学生と地域の方々に参加してもらえよう学内外への情宣方法の工夫が課題となりました。



(常三島・11月29日)

▶▶▶ English Chat Room ◀◀◀

2005年度5月からE C Rを隔週月曜日（蔵本地区は火曜日）に開催致しました。開始時間が6時～7時半までと多少遅かったこともあり、あまり人数は集まらなかったのですが、和気あいあいとした雰囲気の中で英会話を楽しめたのではないかと思います。



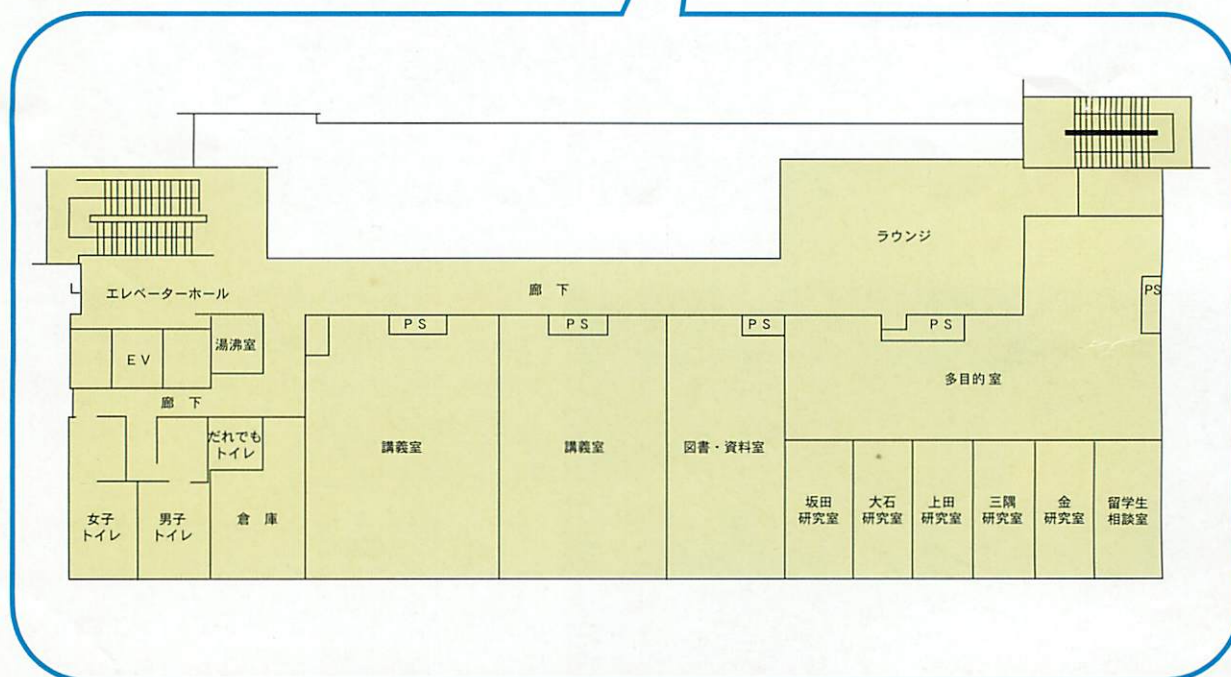
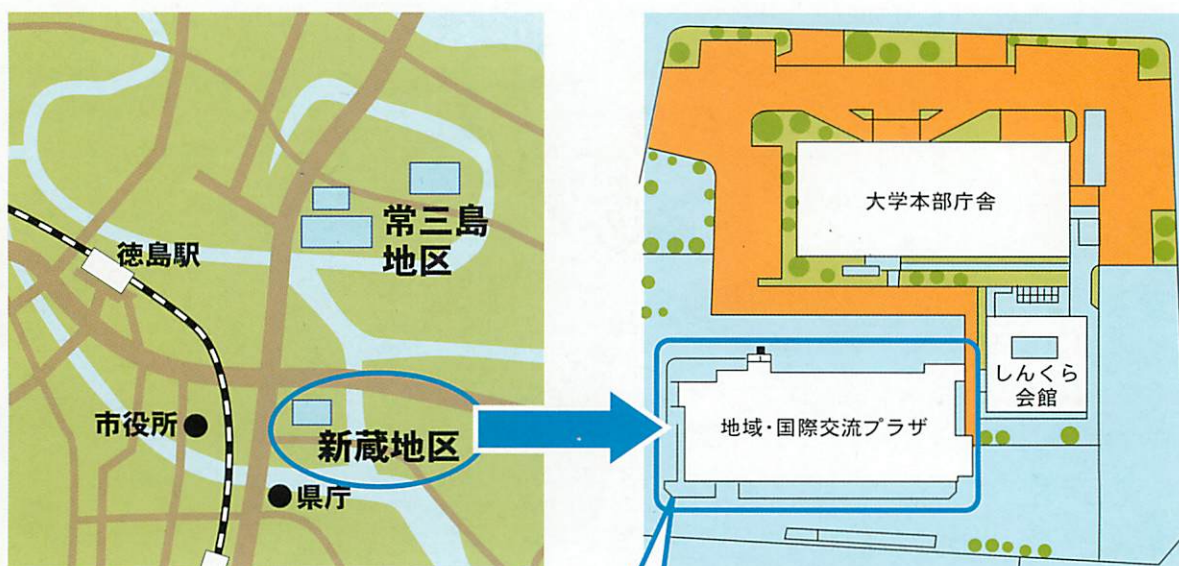
特に今回は常三島地区のE C RにFlorida Atlantic Universityからの交換留学生（エルシド君、デイビッド君、モーリーンさん）も参加してくれたので、「生の」英語に触れることも出来たのではないかと思います。

2006年度のE C Rも引き続き共通教育学習支援室と連携を取りながら開催して行きたいと考えておりますので、学生さんのみならず、教職員の方々にもふるってご参加頂ければ幸いと存じます。

新蔵キャンパス紹介

2006年3月15日より、留学生センターは新蔵キャンパスに移転、活動を開始します。

新蔵地区に新しく建設された【地域・国際交流プラザ】の2階に留学生センターの教員が入ります。留学生の生活相談を始め、海外留学を考えている学生に対する相談、日本語教育に関する質問・相談に対応します。



蔵本地区留学生支援室案内

蔵本会館2階に「留学生支援室」があるのをご存じですか。

この支援室は、月曜日から金曜日までの午前10時から午後5時（火曜日及び金曜日は午後5時半）の間、留学生課事務職員と留学生センター教員が勤務しており、留学生の相談に応じて、サポートをしています。トラブル、悩みなど有りましたら、気軽に相談に来てください。

この支援室には、テレビ、マルチビデオシステム、CDプレーヤー、パソコン、新聞なども用意しています。

留学生との交流の場としても是非ご利用ください。

日本語研修コース、全学日本語コースの申し込みもこの部屋で受け付けています。

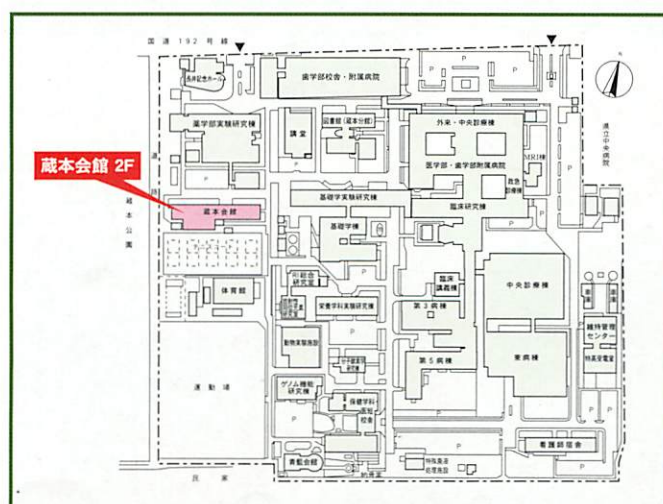
【開室時間及びスタッフ】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10:00～12:00	永 川	永 川	永 川	永 川	永 川
13:00～17:00	永 川	坂田・永川	永 川	永 川	金・永川

ただし、火曜日・金曜日は17:30まで

スタッフ

金 成海	留学生センター教授（指導・相談部門）
	kin@isc.tokushima-u.ac.jp
	088-656-7543 （内線） 81-6215
坂田 浩	留学生センター助教授（異文化交流部門）
	kobayasi@isc.tokushima-u.ac.jp
	088-656-7199 （内線） 81-6211
永川正乃	学務部留学生課事務員
	ryugaku@isc.tokushima-u.ac.jp
	088-633-7398 （内線） 83-7398



留 学 生 数 (2006 年 2 月)

◆国別◆

平成 18 年 2 月 1 日現在 (単位: 人)

区分/国又は地域名		学部学生			大学院生			研究生等			合 計		
		計	うち女子	うち国費	計	うち女子	うち国費	計	うち女子	うち国費	計	うち女子	うち国費
アジア	中国	36	11	0	89	42	13	21	6	2	146	59	15
	韓国	1	1	1	5	1	3	3	2	0	9	4	4
	台湾				2	2	0	1	1	0	3	3	0
	マレーシア	4	2	0	5	1	2	2	1	1	11	4	3
	インドネシア				7	4	4				7	4	4
	パングラディシュ	1	0	0	15	4	10				16	4	10
	スリランカ				1	0	0				1	0	0
	ベトナム	3	1	0	7	4	3				10	5	3
	カンボジア				2	1	0				2	1	0
	フィリピン				1	1	0				1	1	0
	タイ				2	1	0	1	1	0	3	2	0
	ブータン				1	0	1				1	0	1
	モンゴル				1	0	0				1	0	0
	ミャンマー							3	2	3	3	2	3
中近東	イラン				9	3	0				9	3	0
	シリア				1	0	0				1	0	0
北米	アメリカ				1	0	0	3	1	0	4	1	0
中南米	ブラジル				2	1	2				2	1	2
	メキシコ				1	1	0				1	1	0
	コロンビア				1	0	1				1	0	1
	アルゼンチン				1	1	1				1	1	1
	ペルー							1	0	1	1	0	1
ヨーロッパ	フランス				1	0	1	1	0	1	2	0	2
	ブルガリア	1	0	1							1	0	1
	セルビア				1	1	1				1	1	1
アフリカ	エジプト				7	2	0				7	2	0
	エチオピア				2	0	2				2	0	2
	ケニア							2	1	2	2	1	2
合計 29 ヶ国		46	15	2	166	70	44	38	15	10	250	100	56

◆所属別◆

平成 18 年 2 月 1 日現在 (単位: 人)

所属/区分	学部学生			大学院生			研究生等			合 計		
	計	うち女子	うち国費	計	うち女子	うち国費	計	うち女子	うち国費	計	うち女子	うち国費
総 合 科 学 部	13	4	1	19	13	1	18	9	0	50	26	2
医 学 部	0	0	0	50	22	13	1	1	0	51	23	13
歯 学 部	0	0	0	15	10	8	0	0	0	15	10	8
薬 学 部	1	0	0	13	4	7	0	0	0	14	4	7
工 学 部	32	11	1	69	21	15	12	2	3	113	34	19
日 本 語 研 修 生							7	3	7	7	3	7
合 計	46	15	2	166	70	44	38	15	10	250	100	56

編集後記

2006 年 3 月中旬に、留学生センターの教員 5 名は新蔵キャンパスへ引っ越します。それ以降、留学生の相談、海外留学の相談、日本語教育は新蔵、常三島、蔵本の 3 キャンパスで行われることになります。心機一転、張り切っています。これからもよろしくお願いします。

発行 徳島大学留学生センター

住所 徳島市南常三島町 1-1

Tel. 088-656-7082 Fax. 088-656-9873

E-mail: ryugakuk@jim.tokushima-u.ac.jp